

令和5年度第3回契約監視委員会議事概要

- 1.日 時 令和6年1月23日(火) 13:30~16:00
- 2.場 所 経済産業省別館10階 産総研東京本部大会議室(ハイブリッド開催)
- 3.出席者 川崎委員長、山口委員、小原委員(オンライン参加)、中沢委員、菊地委員
- 4.報告事項

- (1) 令和5年度第2回契約監視委員会議事概要
- (2) 点検対象の抽出基準及び件数について

5.議題

- (1) 随意契約の妥当性についての点検
- (2) 特例随意契約の競争性の確保に関する点検
- (3) 特例随意契約の実施に係る確認
 - ①特例随意契約の実施に係るガバナンス強化の措置及び適用条件への対応状況
 - ②特例随意契約の運用状況に係る内部監査結果報告
- (4) 令和6年度特例随意契約の実施について
- (5) 一般競争入札等の競争性の確保に関する点検

6.議事概要

- (1) 随意契約の妥当性についての点検

資料3「競争性のない随意契約 一覧及び個票」に基づき、抽出21案件に対する点検を行った。事前に委員よりいただいた質問について、資料8により説明を行った。なお、委員から以下のとおり意見(要旨)があった。

○No.9「半導体製造装置(アプライドマテリアルズ製)の保守」について、長期的に使用することが分かっている案件であれば、中長期計画期間を跨ぐ契約の是非について、研究計画の継続性や金額面のメリットを総合的に検討し、良い効果が生じる場合は予算の担保を確認のうえで、期間を跨ぐ契約締結を行うことを検討していただきたい。

○No.10「九州センター研究廃水監視設備内フッ化物イオン測定装置更新」について、本件は「研究廃水監視設備」一体としての性能保証を必要不可欠とする設備のうち、一部の装置更新であったが、今後、一部ではなく「研究廃水監視設備」全体を更新する際は、可能な限り競争性が確保できるよう対応していただきたい。

- (2) 特例随意契約の競争性の確保に関する点検

資料4「一者応募となった特例随意契約 一覧及び個票」に基づき、抽出9案件に

対する点検を行った。事前に委員より質問をいただいた案件については、資料 8 により説明を行った。なお、委員から以下のとおり意見（要旨）があった。

○No.3「高頻度自動変化検出・識別システムソフトウェアの製作」について、本件は、ソフトウェアの製作案件であり競争参加時における提出書類等の準備に相応の期間が必要と思われる。書類の提出期限をより長く確保することで、一層の競争性を確保できるのではないか。案件の内容を精査し提出期限を長めにすることを検討していただきたい。

(3) 特例随意契約の実施に係るガバナンス強化の措置及び適用条件への対応状況

事務局より資料 5-1「特例随意契約の実施に係るガバナンス強化の措置及び適用条件への対応状況」について、監査室より資料 5-2「特例随意契約の運用状況に係る内部監査結果報告」について、報告を行った。

なお、委員からは質問があったものの、特段の意見はなかった。

(4) 令和 6 年度特例随意契約の実施について

事務局から、資料 6「令和 6 年度特例随意契約の実施について」に基づき引き続き特例随意契約を実施することについて、承認をいただきたい旨の説明を行い委員会において承認された。

(5) 一般競争入札等の競争性の確保に関する点検

資料 7「一者応札・応募となった一般競争入札 一覧及び個票」に基づき、抽出 9 案件に対する点検を行った。事前に委員より質問をいただいた案件については、資料 8 により説明を行った。

なお、委員からは質問があったものの、特段の意見はなかった。

以上